

地元の中学生と防災学習



防災講座

【防災推進アドバイザー 山口 賢司】さんを招いて吉田中学校の1年生を対象に

『災害リスクを学んで、どのような避難行動をとれるか?』をテーマに話し合った。

自分の地区の避難場所は? 危ない場所は? 自分の住居がどういう状況になるか?

生徒からは、『液状化の確率が高い。』

『家が沈む。』ととにかく 高いところに逃げる。』

という発表があった。中には『単身高齢者に声をかけ一緒に逃げる』『学んだことをしっかりと覚え、もしもの時は落ち着いて行動したい。』という発表もあった。

土のう選手権

平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた宇和島市吉田町は、未だに復旧されていない園地がある。

吉田中学生とボランティアの方々に、園地への土のう作りを競った。

吉田町立間の土のうステーションに寄付をするところになくなる状態。

土のうのニーズは多いことがわかる。また、台風や豪雨のときには土のうが欠かせない。

浸水した地域では普段から玄関先に土のうをつんでいる家庭も少なくない。農家では一度に百個単位で、多いところでは千個必要

なところもある。今後も学生たちと地域貢献活動を行っていき

12月号

キヤリッジ新聞



休眠預金を活用した事業です



出来上がった土嚢はすぐに地域の必要な方の手に。直接渡すことで、学生もやりがいを感じたようだ。



豚まん・あんまん作り

茶話会



毎月第三木曜日に開催している『茶話会』

10月は、中国の梁さんを招いて地域の皆さんと本場の豚まん・あんまん作り。

豚の形にするのが難しかったが、やはり本場は違う!と喜んでいました。

天気も良く、今回はモルックとわなげをした。近くの幼稚園が運動会だったこともあり、たくさんの子どもの笑顔が見られた。

いぬび食堂

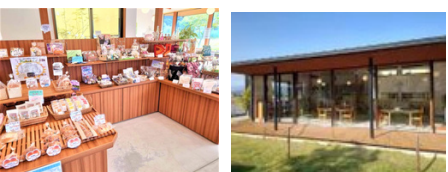


もてころ食堂



いぬび食堂に続き、もてころ食堂でも「モルック!」モルックは、小さい子どもも遊べるから大人気!お弁当が届くまで、「もつ! 回!」という声も。

北宇和郡鬼北町近永72 ☎ 0895-45-3140



facebook



NPO法人ひだまり工房さんへお邪魔してきました! NPO法人ひだまり工房さんは、『障がいのある方がスタッフと同じステージで働く喜びを感じる「働く場所」づくり』をされています。 『障がい者就労支援施設みもぎ』の店内は、木や太陽の温もりを感じるとても癒される空間でした。 理事長さんのご厚意で、 『障がい(児)者支援施設みらい』 夜間の居場所が欲しい 障がいの ある方のグループホーム シェアハウスなどを案内していただきました。 調理場からはいい匂いがし、利用者の方が鼻歌を歌いながら配膳のお手伝いをしていました。どの施設も、太陽の光と自然たっぷり愛情たっぷりの素敵な居場所でした。 ※12月24日のイベントでは、お弁当やお菓子を販売していただきました。お弁当もお菓子も絶品でした!

団体紹介 コーナー

NPO法人

ひだまり工房

歌って 踊って 泣いて 笑って



歌声喫茶

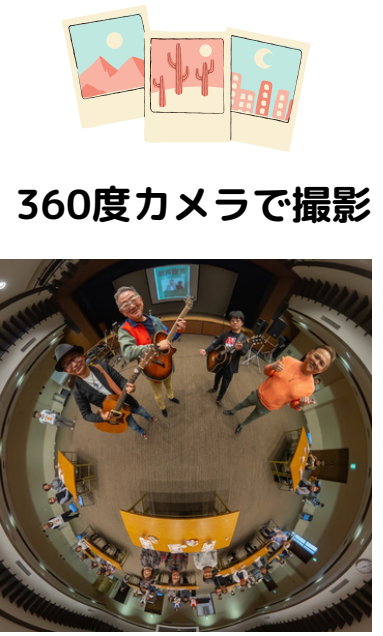
吉田公民館

福島県からJACKあまのさんをお招きして、

「歌声喫茶」を開催した。吉田町在住の高齢者、単身高齢者、被災者を中心にコーヒーを飲みながら、約二時間半にお及ぶコンサートを楽しんだ。曲が始まると、昔懐かしい曲をみんなで口ずさみ、笑いと涙の楽しい時間を過ごした。途中で、なんよエリア視覚障がい者協会の方たちがみかんの木で作ったカスタネットで『ミカンの花』の演奏に加わり、参加者たちはいつもより笑顔になり、いつもより足り取りが軽く、前にでて歌う方もいた。



お困りごとなどなんでも役目 つながるポスト

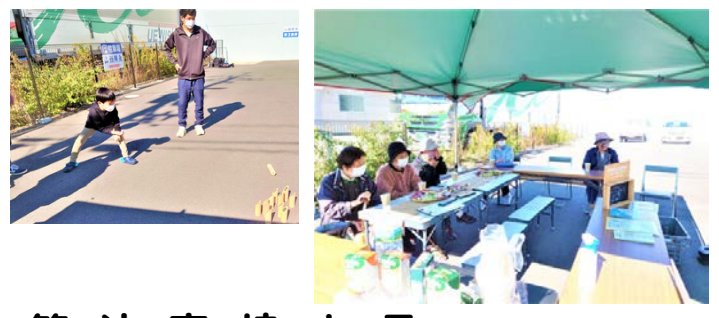


360度カメラで撮影

うわじま360

撮影

もてころ食堂



今回は、待ち時間に子ども達が退屈しないように「モルック」を持って行った。天候に恵まれ、子供同士の対決もあり、たくさん笑顔が見られた。

祝森交流会



祝森交流会で防災ボトル作りを実施。多くの参加があり、防災の第一歩を踏み出したのではないかと思う。

※防災ボトルとは 百円均一で揃えた 防災笛・携帯トイレ アルミブランケット 圧縮タオル 家族写真・クスリ 羊羹など



外出先で災害にあったとき、車やバック、シルバーカーの中に入れておけるオリジナル防災ボトルを作成。「軽くて持ち運びやすい」と早速バックの中へ。



防災ボトル作り

茶話会

団体紹介 コーナー

特定非営利活動法人 **宇和島NPOセンター**
〒799-3703 愛媛県宇和島市吉田町東小路甲 71-1
0895-49-3563
info@uwajima-npo-center.jp
 賛助会員募集中



皆さんは、Googleストリートビューにお世話になってますか？「うわじま360」さんはGoogleストリートビューの普及を通じて「より多くの方に、地元の商店や観光地を知っていただきたい！」という思いで、撮影から公開まで「無料」でされています。『無料』だけど、技術は本物！また、皆さん無料と聞いて、大丈夫？と思うかもしれませんが、とても熱心に宇和島市のために活動されています。写真を見せていただいたのですが、美しいものを美しく、1枚1枚の写真に対する想いや物語、豆知識など、たくさんのお愛を感じました。そして、最後に物があふれている当センターの写真を撮っていただきました。私のお気に入りの写真になりました。センター主催イベント時には山本さんにお越しいただき、連携しながら、活動をしていこうと思えます。

